



2018年8月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 新 日 本 科 学  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 永 田 良 一  
(コード番号：2395 東証第一部)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 C F O 二 反 田 真 二  
(TEL:099-294-2600)

### 米国事業の再編に関するお知らせ

当社は、米国事業の中長期的成長戦略を推進する中、早期収益改善を実現する目的で、事業再編を進めてきました。その一連の流れの中、本日開催された取締役会において、米国前臨床事業会社である SNBL U.S.A., Ltd. (米国ワシントン州；以下「SNBL USA」) を分社化し、新会社 (Altasciences Preclinical Seattle Inc. 以下「APS」) を設立し、この APS に SNBL USA の前臨床事業 (研究施設を除く) を移管したうえで、北米を拠点とする受託会社 (CRO) である Altasciences グループ (カナダ ケベック州；以下「Altasciences」) に APS の株式を有償譲渡すること (以下「APS 株式譲渡」) を決議しましたので、お知らせいたします。APS 株式譲渡は、2018 年 9 月末のクロージングを目標としています。なお、SNBL USA は、本事業再編後も当社 100% の米国子会社として継続し、当社グループにおける米国事業の中核会社として、保有する研究施設や資産などを活用して、中長期的に安定した収益を計上する形態となります。

一方、当社は、これまでに米国事業再編の一環として、2017 年 3 月に SNBL Clinical Pharmacology Center Inc. (米国 メリーランド州；臨床第 I 相試験施設) を Pharmaron Beijing Limited Co., Ltd. 社 (中国 北京) と合弁事業化 (2017 年 2 月 28 日付で開示) し、2017 年 9 月には Scientific Resource Center (米国 テキサス州；霊長類検疫施設) を Orient Bio Inc. (韓国 ソウル) に売却 (2017 年 8 月 31 日付で開示) しました。

今回、APS 株式譲渡の完了により、当社が進めてきた米国事業再編はすべて完了します。

今後、当社の前臨床事業は、主に国内施設において実施することになり、また、米国事業の軸はトランスレーショナルリサーチ事業 (以下「TR 事業」)<sup>(1)</sup> に移行 (パラダイムシフト) して参ります。

## 1. 米国前臨床事業再編の経緯と目的

1999年、当社は前臨床事業推進の一環として、米国ワシントン州にSNBL USA (100%子会社) を設立しました。SNBL USA は、AAALAC 認定<sup>(2)</sup>、USDA 登録<sup>(3)</sup>、PHS 保証<sup>(4)</sup>、CDC 認可<sup>(5)</sup>、FDA/GLP 査察合格<sup>(6)</sup> など各種基準をすべてクリアしている施設です。

一方、当社は、中長期的な視点で、米国事業の成長を加速するためには、北米でのシナジー効果が期待できるCROとの提携が効果的と考え、候補先を模索していたところ、臨床初期段階のCRO事業を展開するAltasciencesグループから米国における前臨床事業の事業譲渡に関する申し出がありました。Altasciencesグループは、北米施設を拠点に前臨床から初期臨床段階における一貫した受託体制を確立していく構想を持っており、双方で十分な時間をかけて慎重に検討を重ねた結果、SNBL USA の前臨床事業をAPSが引継ぎ、Altasciencesグループの成長戦略の一環としてAPSを活用していくことで、中長期的に双方の利益を最適化できると合意に至りました。

## 2. 今回の事業譲渡にかかわる経済条件

当社は、APS株式譲渡の対価として、クロージング時に支払われる一時金に加え、SNBL USA が引続き保有する研究施設(土地及び建物)について、APSと賃貸契約(最低10年間+5年間の延長オプション)を締結することで、中長期的に安定した収益基盤を構築できます。

クロージングの一時金と賃料は、10年間の総額で最低23.5百万ドル(26.04億円:2018年8月14日付の為替レート1ドル=110.80円による。以下同じ。)からAPSの業績により増額されて最高45.5百万ドル(50.41億円)程度までが見込まれます。

加えて、将来、APSが第三者に売却された場合にも、当社の経済的権利(APS企業評価価格の25%)が確保されています。

## 3. 今後の当社グループの前臨床事業について

今後、当社は過去20年近くに亘り米国で培った経験を活かし、前臨床試験の受託事業は、これまで同様、当社100%管理下で国内拠点(鹿児島、和歌山)をベースにグローバル営業を積極的に推進させていき、引き続き当社グループの中核事業として成長させていきます。

また、SNBL USAにて従前受託してきた霊長類の生殖発生毒性試験については、鹿児島の当社研究施設において提供を継続して参ります。

備考：

- (1) TR事業：当社は、米国を拠点に医薬品開発を進めるトランスレーショナル事業として、既に、核酸医薬合成に関する基盤技術特許を有する、Wave Life Sciences社 (<https://www.wavelifesciences.com/> ボストン)、経鼻製剤における基盤技術特許を有する、Satsuma Pharmaceutical社 (<https://www.satsumarx.com/> サンフランシスコ) の設立ならびに事業推進に携わってきた実績があります。
- (2) AAALAC 認定：民間の非政府系団体であり、評価認証プログラムを通じて、実験動物の人道的な取扱いを推進しており、世界中の多くの製薬企業、大学、病院などの研究機関が任意による認証を取得しています。 (<https://www.aaalac.org/>)
- (3) USDA登録：米国農務省 (<https://www.usda.gov/>) による認可を示します。
- (4) PHS 保証取得：米国公衆衛生局 (<https://olaw.nih.gov/policies-laws/phs-policy.htm>) による認可を示します。
- (5) CDC認可：米国疾病監督局 (<https://www.cdc.gov/>) による認可を示します。
- (6) FDA/GLP査察合格：米国食品医薬品局 (<https://www.fda.gov/ICECI/Inspections/NonclinicalLaboratoriesInspectedunderGoodLaboratoryPractices/default.htm>) によるGLP認可を示します。

4. SNBL USA の概要 (<https://snbl.com/>)

(1) 名 称	SNBL U. S. A., Ltd.	
(2) 所 在 地	6605 Merrill Creek Parkway, Everett, WA 98203	
(3) 代 表 者 の 氏 名	高梨 健	
(4) 事 業 内 容	前臨床試験の受託研究	
(5) 資 本 金	60,000米ドル (6.6百万円)	
(6) 設 立 年 月 日	1999年2月25日	
(7) 純 資 産	3,576,228米ドル (396百万円)	
(8) 総 資 産	67,878,031米ドル (7,521百万円)	
(9) 大株主及び持株比率	株式会社新日本科学 100.0%	
(10) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	当社は当該会社の発行済株式総数の100%を保有しております。
	人 的 関 係	当社役員5名が当該会社の役員を兼務しています。
	取 引 関 係	該当事項はありません。

※SNBL USA に関する過去の業績・財務状況については、競業他社に対する営業戦略上の観点から Altasciences の強い要請により、非開示としています。なお、同社の業績については、当社有価証券報告書の「関係会社の状況」をご参照ください。

5. APS株式を取得するAltasciences社の概要 (<https://www.altasciences.com/>)

(1) 名 称	Altasciences US Intermediate, LLC.	
(2) 所 在 地	302 W Fayette St, Baltimore, MD, 21201-3451, USA	
(3) 代 表 者 の 氏 名	Chris Perkin	
(4) 事 業 内 容	北米を拠点とするCRO	
(5) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。

※Altasciencesに関する資本金、設立年月日、純資産、総資産並びに大株主及び持株比率については、同社の強い要請により、非開示としています。

6. 分社化して異動する子会社APSの概要

(1) 名 称	Altasciences Preclinical Seattle, Inc.	
(2) 所 在 地	6605 Merrill Creek Parkway, Everett, WA 98203, USA	
(3) 代 表 者 の 氏 名	高梨 健	
(4) 事 業 内 容	前臨床試験の受託研究	
(5) 資 本 金	0 米ドル (2018年8月15日時点)	
(6) 設 立 年 月 日	2018年7月20日	
(7) 純 資 産	0 米ドル (2018年8月15日時点)	
(8) 総 資 産	0 米ドル (2018年8月15日時点)	
(9) 大株主及び持株比率	SNBL USA 100.0%	
(10) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	当社は当該会社の親会社であるSNBL USAの発行済株式総数100%を保有しています。
	人 的 関 係	当社の役員1名が当該会社の役員を兼務しています。
	取 引 関 係	該当事項はありません。

※分社化後の資本金、純資産、総資産及び分社化する事業の業績については、競業他社に対する営業戦略上の観点から Altasciences の強い要請により、非開示としています。

#### 7. 譲渡対象事業会社となるAPSの譲渡要旨

(1) 譲渡対象とする会社	Altasciences Preclinical Seattle, Inc.
(2) 譲渡完了日	2018年10月1日迄
(3) 譲渡株式数	1,000株
(4) 譲渡後の所有株式数	0株(当社所有割合:0%)

※譲渡価格の決定プロセスとしては、Altasciences との協議の中で、APS へ移管される事業と Altasciences とのビジネスプランの相乗効果をもとに事業評価すべきと判断し、慎重に確認し、真摯に協議を重ねた結果、当社は、これまでの投資総額を勘案し、上記2. で記載した Altasciences の提示条件が十分に納得できるものと判断しました。なお、クロージングの一時金と将来 APS が第三者に売却された場合の当社の経済的権利が譲渡価格に相当し、具体的な金額は Altasciences の強い要請により、非開示としています。

#### 8. 今後の見通し

今回の事業分社化及び事業譲渡による譲渡損益及び当社の今期業績に与える影響については、現在精査中であり、譲渡損益及び業績に影響を与えることが明らかになった時点で詳細を開示いたします。

参考：2018年5月15日公表の当期連結業績予想及び前期連結実績は以下の通りです。

(百万円未満切捨て)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2019年3月期)	16,700	△520	△700	△1,157
前期連結実績 (2018年3月期)	16,600	△679	△813	△3,555

以上